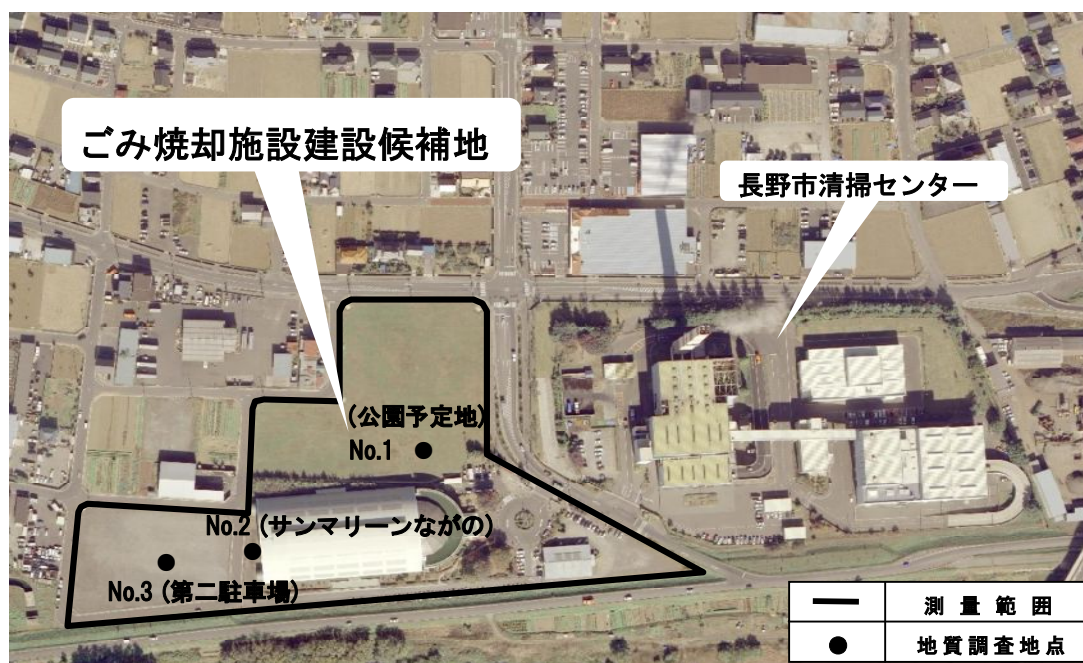


「ごみ焼却施設建設候補地の測量及び地質調査の結果について報告します」

本広域連合では、ごみ焼却施設建設候補地の地形及び地質条件の確認と施設のレイアウト等の基礎的な資料とすることを目的に、大豆島地区区長会、松岡区及び地権者の皆様のご理解により、昨年11月から12月にかけて、建設候補地内において測量及び地質調査を実施しました。

調査内容及びその結果の主な内容は、以下のとおりです。

1 調査範囲



長野市大豆島松岡二丁目(サンマリーンながのおよびその周辺部)

2 調査結果

(1) 測量

ア 候補地の面積 38,040 m²
(サンマリーンながの第二駐車場に隣接する市道分 1,324 m²を含みます。)

イ 地盤の高低差 サンマリーンながのから公園予定地へ向かって約 80cm の高低差がありますが、候補地全体としては概ね平坦な土地です。

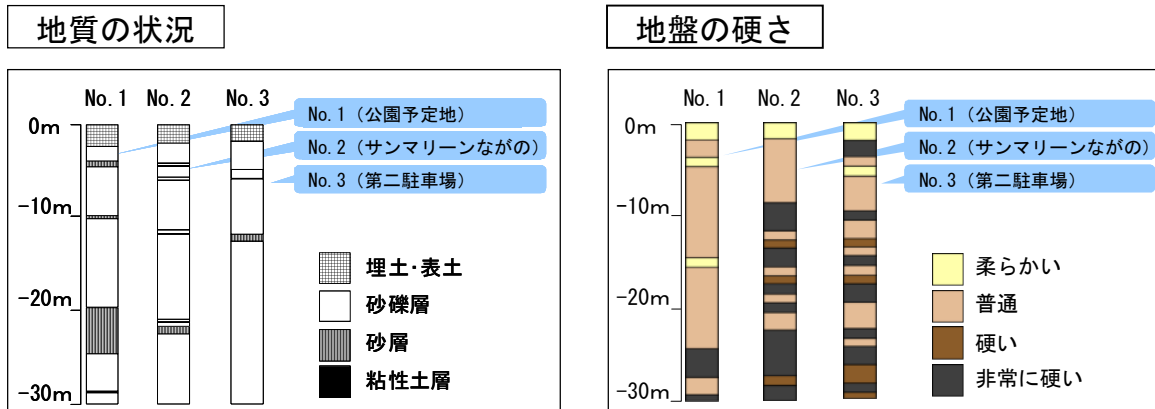
(2)地質調査

ア 地質の状況及び地盤の硬さ

3地点において、深さ30mまでボーリング掘削を行い掘削した土を採取して地質の状況を調査しました。

また、標準貫入試験を行い地盤の硬さを調査しました。

※標準貫入試験…地盤に対して垂直方向におもりを落下させ、試験装置を地盤中へ30cm打ち込むのに要した回数を測定し地盤の硬さを判定します。



砂礫層(砂利)が主体の地質です

普通～硬い 地盤となっています

イ 地盤の透水性 (水はけの良否)

3地点において、現場透水試験を行い土の透水性を判定する透水係数を算出しました。3地点の透水係数の平均は、0.19cm/秒(水が1秒間に0.19cm浸透)であることから地盤の透水性は良いと想定されます。

ウ 地下水の状況

3地点とも地下水位は、深さ4.0m付近で確認しました。調査期間中は大きな水位変化は見られませんでした。地下水位は季節によって変動するためNo.1地点を観測井とし、継続して通年観測を行います。

3 調査結果のまとめ

(1)測 量

建設候補地の面積は、市道分を含めて38,040 m²、地盤の高低差は少なく、概ね平坦な土地であることを確認しました。

(2)地質調査

3地点の地質の状況は、ほぼ同様であり、建設候補地内は、河川敷特有の砂礫(されき)層が主体で透水性のよい地盤であると想定されます。また、既存の長野市清掃センター内の地盤と比較をしても、概ね同様の地盤でした。

なお、調査では建設に著しく不向きな地盤は確認されませんでした。

大豆島支所にボーリングにより採取した土砂の一部と解説パネルが展示してあります。